



山形県の古木・名木 No.110

南陽市の二本杉 (なんようしのにほんすぎ)

南陽市宮内

南陽市宮内の熊野大社から北へ約2km、羽山権現の参道入り口の鳥居付近に2本のスギの巨木があり、参詣者の目印となっています。

西のスギは幹周り5.4m、高さ約24m、樹齢推定約600年。東のスギは幹周り4.15m高さ約15m、樹齢推定約400年。平成14年3月に市指定天然記念物に指定されています。

本誌で紹介した妹背の松(45号)、熊野神社の大イチョウ(48号)、餅杉(123号)などと共に宮内地区の6名木のひとつに数えられています。

〔山形県森林協会〕

〔森林やまがた No.139号(2012年4月)掲載〕

